

外国語科

I フランス語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II フランス語の6年間の科目構成と学習内容

| | | 「科目」と学習内容 | 発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等 |
|------|----|---|--|
| 中学段階 | 1年 | 開講しない | 開講しない |
| | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な会話をできるようにする ・フランス語のしくみを理解する ・フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・演劇 ・文法の演習 ・フランスのゲーム、歌、アニメ |
| | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話をできるようにする ・フランス語の全体像を把握する ・フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解して考える力をつける | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・翻訳 ・文法や仏検の演習（希望者は仏検受験） ・フランスのゲーム、歌、映画 |
| 高校段階 | 4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅行や留学で使える会話表現を増やす ・読解や仏作文に慣れる ・フランスの文化について学習し、自ら考え表現する能力と態度を身につける | <ul style="list-style-type: none"> ・文法、語彙、聴解力、読解力を強化する活動 ・口頭発表 ・翻訳 ・仏作文 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） |
| | 5年 | <ul style="list-style-type: none"> ・旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす ・学習した文法事項を活用して、読解や仏作文ができる ・フランスの文化、歴史、現代事情について学習し、自ら考え表現する能力と態度を身につける | <ul style="list-style-type: none"> ・文法、語彙、聴解力、読解力を強化する活動 ・口頭発表 ・翻訳 ・仏作文、手紙、メール ・仏検の演習（希望者は仏検受験） |
| | 6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試に対応できる能力を身につける | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の演習など |

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 2学年選択

I 学習到達目標

- 1 フランス語の基本的な表現を学習し、それを使って初歩的な会話をできるようにする。
- 2 フランス語の基本的な文法事項を学習し、フランス語のしくみを理解する。
- 3 フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏に関する知識を深めるとともに、フランス文化について学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めると共に発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基礎文法事項や簡単な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『プティ・シュマン（改訂版）』（大塚陽子、白水社、2017年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------------|--|---|---|---------------------------------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿題 | | なし | なし | |
| | 4 | | Introduction (pp.6-7): アルファベ、出会いの挨拶など | 30 | |
| | 5 | | Leçon 1 (pp.10-13): 数詞 0~10、注文・依頼する際の表現、丁寧な呼びかけなど | | |
| 6 7 | 1学期 期 末 考 査 | Leçon 2 (pp.14-17): 誰・何・いくらなのか尋ねる/言う、数詞 11~20 など 補足 (pp.8-9): 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスのアニメ ・フランス文化（ヴァカンス） | | |
| | 夏休み 宿題 | | | | |
| 二 学 期 | 9 | | Leçon 3 (pp.18-21): 職業や身分を尋ねる/言う、受付や窓口で用件を伝える、提示表現、数詞 21~30 など | 30 | |
| | 10 | | Leçon 4 (pp.22-25): 好き嫌いを尋ねる/言う、どこ・いくつなのか尋ねる/言う、話せる言語を言う、数詞 31~69 など | | |
| | 10 11 | 2学期 期 末 考 査 | Leçon 5 (p.27): 数詞 71~100 など 補足 (pp.8-9): 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・筆記体 ・フランス文化（ノエル） | |
| | 冬休み 宿題 | | | | |
| 三 学 期 | 1 2 | 3学期 期 末 考 査 | Leçon 5 (pp.26-29): 持っているものやあるものを言う、身体の調子を尋ねる/言う、人にすすめる際の表現など Leçon 6 (pp.30-33): 行き先を尋ねる/言う、前置詞、数詞 101~9999 など 補足 (pp.8-9): 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・演劇 ・フランス文化（イースター） | 18 |
| | | | | 計 78 | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題 | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 3 学年選択

I 学習到達目標

- 1 フランス語の基本的な表現をさらに発展させて学習し、それを使って日常会話をできるようにする。
- 2 フランス語の基本的な文法事項をさらに発展させて学習し、フランス語の全体像を把握する。
- 3 フランスの歴史や現代事情にも触れながら、フランス文化について学習し、他との違いや共通点を理解して考える力をつける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基礎文法事項や簡単な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『発見！ フランス語教室』（中井珠子他著、第三書房、2019年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------------|--|---|-----------------------|------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 5 | Leçon 8 (pp.48-53)：欲しいものを言う（指示形容詞、直接目的語の代名詞 le/la/les、prendre/venir の現在形、身の回りの品や文房具を表す単語、100～10000） Leçon 9 (pp.54-59)：人や物の場所を言う（位置の表現、直接目的語の代名詞、voir/entendre の現在形、建物に関する単語） | ・フランスの歴史や現代事情 | 30 | |
| | 6 7 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 12 (pp.72-77)：起床・就寝時間を言う（代名動詞） 補足：綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・翻訳 | | |
| | 夏休み 宿 題 | | | | |
| 二 学 期 | 9 10 | 2 学期は主にプリント教材を使用 仏検演習①：冠詞、前置詞と定冠詞の縮約、指示形容詞・所有形容詞 仏検演習②：主要な動詞の現在形 仏検演習③：非人称構文、様々な否定文、近接未来・近接過去、形容詞・副詞の位置 仏検演習④：疑問文、否定疑問文、疑問形容詞、疑問代名詞、疑問副詞 | ・フランス映画 ・フランスの学校生活 | 30 | |
| | 10 11 2 学期 期 末 考 査 | 仏検演習⑦：会話文 道案内：地図を解読して、道を案内する 仏検演習⑧：質問文の聞き取り 仏検演習⑨：1～20 のリエゾン・アンシェヌマン | ・学期末試験 ・フランスの食文化 | | |
| | 冬休み 宿 題 | | | | |
| 三 学 期 | 1 2 3 学期 期 末 考 査 | Leçon 10 (pp.60-65)：これまでにしたことを言う（複合過去形、過去分詞、時を表す単語） 以下、プリント教材 レストラン：メニューを解読して、注文する 仏検演習⑤：テーマ別の語彙 仏検演習⑥：対になる表現、比較級 仏検演習⑩：日常表現の聞き取り、 仏検演習⑪：肯定・否定、単数・複数、男性・女性の聞き分け | ・学期末試験 ・フランスのゲーム、歌 | 18 | |
| | | | | 計 78 | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題 | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (初中級)
 対象 4学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 フランス語の基本的な表現をさらに発展させて学習し、旅行や留学で使える会話表現を増やす。
- 2 フランス語の基本的な文法事項をさらに発展させて学習し、読解や仏作文に慣れる。
- 3 フランスの文化について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を身につける。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 中学より継続してフランス語を学ぶ高校1年生に加え、言語変更を希望する高校1年生も対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基礎文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『とことんフランス語 - フランス語文法のレシピ-』 (山崎吉郎他、朝日出版社)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------|---|--------------------|---|--------------------------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 | | Leçon 0 (pp.1-3) : アルファベ、綴り字記号、発音 Leçon 1 (pp.6-7) : 名詞の性と数、冠詞 Leçon 2 (pp.8-9) : 主語人称代名詞、avoir の直説法現在 Leçon 3 (pp.10-11) : être の直説法現在、提示表現 Leçon 4 (pp.12-13) : -er 動詞の直説法現在 | ・仏作文や会話 | 30 |
| | 5 | | | | |
| | 6 7 | 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 5 (pp.14-15) : 疑問文、疑問文に対する肯定の答え Leçon 6 (pp.16-17) : 否定文、否定疑問文、否定の de 数詞 1~20 (p.7, 9) | ・学期末試験 ・仏検演習 | |
| | 夏休み 宿 題 | | | 単語コンクールの準備、仏検演習 | |
| 二 学 期 | 9 | | Leçon 7 (pp.18-19) : 形容詞の女性形と複数形 Leçon 8 (pp.20-21) : 形容詞の位置と男性単数第 2 形など Supplément 1 (p.22) : 名詞の女性形と複数形 Leçon 9 (pp.24-25) : -ir 動詞の直説法現在、人称代名詞強勢形 Leçon 10 (pp.26-27) : 所有形容詞、指示形容詞、partir の直説法現在 | ・単語コンクール ・仏作文や会話 | 30 |
| | 10 | | | | |
| | 11 12 | 2 学期 期 末 考 査 | Leçon 11 (pp.28-29) : aller/venir の直説法現在、近接未来・近接過去、前置詞 à/de と定冠詞の縮約 Leçon 12 (pp.30-31) : 命令法、様々な否定表現 数詞 21~100 (p.11, 13, 15, 21) | ・学期末試験 ・フランス文化 | |
| | 冬休み 宿 題 | | | 仏検演習 | |
| 三 学 期 | 1 | 3 学期 期 末 考 査 | Leçon 12 (pp.30-31) : faire/prendre の直説法現在 Leçon 13 (pp.32-33) : 疑問副詞、疑問形容詞 Leçon 14 (pp.34-35) : 疑問代名詞 Leçon 15 (pp.36-37) : vouloir/pouvoir/devoir の直説法現在 Leçon 27 (pp.62-63) : 非人称構文 (天候、時刻、il y a, il faut) | ・仏作文や会話 ・学期末試験 ・翻訳 | 18 |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| | | | | 計 78 (2 単位) | |
| 評 価 | 3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を考慮して、以下の資料を用いて総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・単語コンクール (年に1回) ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題 | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (中級)
 対象 5学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 フランス語の基本的な表現をさらに発展させて学習し、旅行や留学で使える会話表現を増やす。
- 2 様々な時制や代名詞を学習し、読解や仏作文に活用できるようにする。
- 3 フランスの文化、歴史、現代事情について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を身につける。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 初中級クラスでフランス語を学んだ高校2年生を対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基礎文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『プティ・シュマン (改訂版)』 (大塚陽子、白水社、2017年)
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』 (APEF編、朝日出版社、2020年)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------------|---|---|-----------------------------|---------------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 | Leçon 10 (pp.46-49) : 方法や手段を尋ねる/言う、頻度や期間を表す表現、様々な否定など | ・ 仏作文や会話 | 30 | |
| | 5 | Leçon 11 (pp.50-53) : 会う約束をする際の表現、時を表す表現、時間に関する前置詞など Leçon 12 (pp.54-57) : faire を使った表現、したことを尋ねる/言う、過去の時を表す表現 | | | |
| | 6 7 | 1 学期 期 末 考 査 Leçon 12 (pp.54-57) : 序数詞など 補足 (pp.8-9) : 綴りと発音の関係 | | | |
| 夏休み 宿 題 | | | 単語コンクールの準備、仏検演習 | | |
| 二 学 期 | 9 | Leçon 13 (pp.54-57) : していたことを尋ねる/言う、したかったことを言う、理由を尋ねる/言う、様々な否定など、位置を示す表現など 復習や補足 (pp.66-69) : 単純未来形、比較級や最上級、目的語人称代名詞の位置、代名動詞の命令形、中性代名詞、関係代名詞、大過去形、過去分詞の一致、条件法現在形 | ・ 単語コンクール ・ 仏作文や会話 | 30 | |
| | 10 | | | | |
| | 11 12 | 2 学期 期 末 考 査 Leçon supplémentaire (pp.62-63) : メールの手書き方 補足 (pp.8-9) : 綴りと発音の関係 以下、プリント教材 ・ 指示代名詞 ・ 強調構文 | ・ 学期末試験 ・ フランス文化や歴史 | | |
| 冬休み 宿 題 | | | 仏検演習 | | |
| 三 学 期 | 1 | 3 学期はプリント教材を使用 ・ 受動態 ・ 現在分詞、ジェロンディフ ・ 大過去形、前未来形、条件法過去形 ・ 代名動詞の複合過去形 ・ 接続法 ・ 所有代名詞 | ・ 仏作文や会話 ・ 学期末試験 ・ 翻訳 | 18 | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| | | | | 計 78 (2単位) | |
| 評 価 | 3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を考慮して、以下の資料を用いて総合的に評価を行う。 ・ 学期末試験 (年に3回) ・ 単語コンクール (年に1回) ・ 授業への参加態度、発表 ・ 提出物、宿題 | | | | |